

## はじめに

奈良県では、健康寿命の延伸と早世の減少を柱に、より健康でより豊かな長寿社会の実現をめざして平成13年7月に県健康増進計画となる「健康なら21計画」を策定しました。また、平成17年度には、これまでの取り組みの成果や目標達成の進捗状況について中間評価を行い、すべての県民が健やかで心豊かに生活できる社会の実現に向けて取り組んでまいりました。

そのような中、国においては、「医療制度改革大綱」が定められ、その中で、「安心・信頼の医療の確保と予防の重視」を掲げて、「治療重点の医療」から、今後は特に、糖尿病等の患者・予備群の減少により、生活の質の向上、維持を図ることとされました。

県民の健康の実現は、行政が行う保健事業によってのみ達成されるものではありません。県民ひとりひとりが健康について当事者意識を持ち、様々な団体が協働して健康づくりを推進する、すなわち県民運動として盛り上げていくことが重要であるととらえています。

今回、これらを踏まえ、本計画においては、奈良県保健医療計画や奈良県医療費適正化計画、奈良県がん対策推進計画等と連携しながら、平成24年度を最終目標年度として、主に糖尿病などの生活習慣病の発症に大きく関わるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した生活習慣病対策の充実強化と総合的な推進を図ることとしました。

健康で生きがいをもった活動的な人生を送るためには、県民一人ひとりが栄養・運動・休養のバランスのとれた健康的な生活習慣を身につけていくことが大変重要です。

今後は、本計画の目標達成に向けて、市町村や関係機関・関係団体と連携を図りながら、健康診断の受診の推進や生活習慣の見直しの支援、ウォーキング等日常の運動の啓発など、県民総力戦で県民の皆様健康づくりの施策を推進してまいります。

今年は、我が国に本格的な首都「平城京」が誕生してから1300年という記念すべき年にあたります。奈良県民には、国づくりに力を尽くした先人たちの未来を切り拓く力が受け継がれています。このような記念すべき年をスタートとして関係機関・団体の皆様、県民の皆様と力を合わせて、県民が健やかに生きる健康長寿をめざし、奈良県の未来を創るため、常に県民の視点に立って健康づくりを推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、「奈良県健康増進計画」の策定にあたり、貴重なご意見、ご協力をいただきました多くの県民の皆様および関係者の皆様に深く感謝いたします。



平成22年3月

奈良県知事 荒井正吾